

2008-09年度 国際ロータリーテーマ 「夢をかたちに」 R I 会長 李東建（韓国）

国際ロータリー 第2580地区

「おかげさまの心で夢をかたちに」

2008-09年度ガバナー 櫻井 権司



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「行動しよう！」

第37代クラブ会長 藤野 豊

12月は家族月間です。

本日の例会

年次総会

第1785回

例会

2008.12.3

次回例会案内【12月10日(水)】

地区大会 全体会議

第1784回例会報告（2008年11月26日）



東京福生RC 岡根 博之 会長



参加クラブ紹介（武蔵村山RC）



記念事業

- 福生市営競技場
- 東海大学菅生高等学校
- 羽村市動物公園
- 塚越町みずほエコパーク
- 米軍横田基地
- クラブ例会場（石川酒造）



- 台湾鳳山 RC と共同にて身体障害者訓練施設にミニバス寄贈
- ローターリー財団基金贈呈
- 丸山記念奨学基金贈呈
- 福生市社会福祉協議会 福祉事業資金贈呈
- 羽村市社会福祉協議会 福祉事業資金贈呈
- 塚越町社会福祉協議会 福祉事業資金贈呈

ごあいさつ

皆様方におかれましては大変ご多忙の折り、東京福生ロータリークラブ創立40周年記念式典にご臨席賜りまして誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

一口に40年と申しますが、長いようで大変短く感じます。これまで活動エリアの行政関係の方々を始めとし、多くの皆様にご支援、ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

本年、創立40周年を迎えるのを契機に、新たな気持ちで50周年、100周年へと、このたびの記念事業で植樹致しました「アオダモ」の木が大きく成長し、パットができることを夢見て、会員一同更に地域社会の為に奉仕活動をし、明るく希望の持てる社会を目指していく所存で御座ります。

皆様方におかれましては、今後の更なるご指撻、ご協力をお願い申し上げます。



国際ロータリー第2580地区 東京福生ロータリークラブ 会長 岡根 博之



東京福生ロータリークラブ 創立40周年記念実行委員長 木下 邦彦

プログラム

14:00～.....登録受付

第1部 式典及び1961回例会

15:00 点鐘 司会 石川 太郎

国歌・ロータリーソング 岡根 博之

ソングリーダー 松本 修

開会の言葉 実行委員長 木下 邦彦

来賓紹介 会長 岡根 博之

参加クラブ紹介 会長 岡根 博之

物故会員に黙祷 幹事 石川 太郎

40年のあゆみ 会長 岡根 博之

記念事業発表 加藤 勇

表彰状贈呈 木下 邦彦

感謝状贈呈 会長 岡根 博之

15:50 来賓祝辞 櫻井 権司

・2580地区ガバナー 岡根 博之

・青梅RC会長 加藤 勇

・福生市長 木下 邦彦

・羽村市長 岡根 博之

・鳳山RC会長 末 玉水

祝電披露 幹事 石川 太郎

閉会の言葉 副実行委員長 佐竹 庄八

16:20 点鐘

第2部 記念講演

講師紹介 副実行委員長 冨田 勝也

講演「富士山がかわれば日本も変わる」

アムベニスト 野口 健

謝辞 会長 岡根 博之

第3部 祝賀会

開会の言葉 司会 木村 徳守

乾杯 副実行委員長 岸野 寛

祝宴 ガバナー補佐 目時 俊一

アトラクション 津軽三味線

19:30 「手に手つないで」

ソングリーダー 松本 修

閉会の言葉 副会長 高澤 秀明

(敬称略)

記念講演



「富士山がかわれば、日本も変わる」

アムベニスト 野口 健

【略歴】

1973年8月2日、アメリカ・ボストン生まれ。外交官である父に伴い、ウソジアラバ、エジプトなど世界各地で幼年時代を過ごす。4歳の時、初めて日本の地を踏み、中学、高校は再び日本を離れ立教国際学院へ入学し、日本の地を熱中できず、自他共に認める「落ちこぼれ」であった。ついに先業との縁機により、1ヶ月の留学処分を思い返される。学校からは自宅帰国を命ぜられたが、父の勸告により、一人旅に出る。その時、偶然に書店で買った故・榎村三郎氏の著書「青春を共に」に感銘を受け、登山を始め、山岳学校(所沢山岳)に参加し、翌年16歳にしてエコーロック大怪難岩峰モアブッシュへの登頂を果たす。

1992年、「7大陸最高峰登頂」を公約し、一歩一歩試み、善徳聖大大学国際経営学部へ入学。翌年、1993年6月北米大陸最高峰マッキンリーに登頂し、「5大陸世界最年少登頂記録」を、1994年12月には南極大陸最高峰ビュッソフ・マソフの登頂に成功し、16大陸世界最年少登頂記録を達成。1999年5月に、二度の失敗を経て念願のエベレスト(ネパール側)の登頂に成功し、「7大陸最高峰世界最年少登頂記録」を達成して立派な登山家として、清原登山を創始。「富士山から日本を変える」をスローガンに日本の象徴である富士山の環境保全に努めている。

2001年には、日本隊に参加し、遭難したシェルパ(登山隊の携行人)の遭難を救済するべくシェルパ(基金)を設立。更に次世代の環境保護を担っていく人材の必要性を感じ、主に小学生を対象とした「野口健 環境学校」を創設し、日本全国各地で環境の大切さを訴え英語でいくメッセージが生まれている。

また2007年12月には大分県にて創設された「第1回アジア・太平洋水サミット」の運営委員として、「温暖化による水資源の危機」を取り上げる先導役を務め、各都道府県への参加を呼びかけた。現在は、清原活動に加え地球温暖化による氷河の融解防止に向けた対策に力を入れており、GB北海道選定サミットに向けて政府に対し現場の状況を伝える等、情力的な活動を行っている。

主な著書 「僕が生きてる〜10代へのメッセージ〜」(クワガタ) 『落ちこぼれ』と、それが普通だ』(学習研究社) 『53歳から始める登山』(エッセイ) 『落ちこぼれエベレスト』(集英社) 他。

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会長 藤野 豊 ◎ 幹事 田中 伸彦
 ○ 副会長 比留間 一康 ○ 副幹事 比留間 孝司
 □ 会報雑誌委員長 後藤 正次 副委員長 見延 壽昭
 委員 小野寺 一昭 原田 友義 比留間 孝司 北島 栄

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 ◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 ◇ クラブ事務局
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
 Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

第1部 式典及び例会



第2部 記念講演



『富士山が変われば、日本も変わる』
アルピニスト 野口 健 様

アトラクション



津軽三味線



第3部 祝賀会

